

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 水 2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 Comprehensive English II		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) Ef	科目分類 外国語科目(英語)		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスマワー 担当教員: 稲富 百合子 / Eメールアドレス: y_inadomi@hotmail.com / 研究室: 非常勤講師控室 / オフィスマワー: 授業の前後			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 本授業では、英語の4技能を養成することを目標とします。できるだけ多くの英語の文章に触れ、読解力、思考力を身につけていきます。あわせて、語彙力の定着を図っていくことを目指します。 授業方法: 演習形式で行います。授業の前半ではリスニングを中心に、後半ではリーディングを中心に進めていきます。各自、予習、復習をして授業に臨んでください。また、テキストは、語彙力の強化も重視した内容となっていますので、ユニット毎に語彙復習テストを行います。 授業到達目標: 最終到達目標は次の2点です。(1)英語の文章構成の基礎知識について学び、速読のスキルを身につけ、英語の文章を効率的に、かつ正確に読み進めることができるようになる。(2)自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 予習、復習を前提に、テキストに沿って演習形式で行います。1回の授業につき1ユニット半進めることを進度の目安にしてください。授業のはじめに、各ユニットに収められているリスニングのチェックテスト(TOEIC テスト PART 1 の形式)を行い、その作業を通して、リーディングの内容をあらかじめ概略的に把握します。また、リーディングの内容について True / False 形式で確認します。最後に、テキストに用意されている会話練習では、会話中での語句の使い方などを理解していきます。 第1回 Unit 1 Want Fries? Never Mind, We Already Know, Unit 2 Airbus Queuing Up for a Future 第2回 Unit 2, Unit 3 The World's First Biotechnology-Driven "Blue Roses" 第3回 Unit 4 World's Fastest Elevator Installed in World's Tallest Building, Unit 5 Fat Zapper 第4回 Unit 5, Unit 6 Digital Machines Replacing Conventional Photo Booths 第5回 Unit 7 Next-Generation ASIMO, Unit 8 'Marathon Mice' Have Implications for Athletes 第6回 Unit 8, Unit 9 Cars, Drink Your Veggie Oil 第7回 Unit 10 Fuel Cells at Home to Change Our Daily Lives Unit 11 Seattle Museum Offers Tomorrow's Technology Today 第8回 Unit 11, Unit 12 U.S. E-Junk Recycling Still in Infancy 第9回 Unit 13 RFID Getting Ahead, Unit 14 Is 'Burying' Carbon Dioxide the Cure for Global Warming? 第10回 Unit 14, Unit 15 Inkjets Newly Registered in Medical Equipment 第11回 Unit 16 Photocatalysis Applications Increasing around Globe Unit 17 USB Gadgets: Tapping the Power of the PC 第12回 Unit 17, Unit 18 Researchers to Analyze Greenhouse Gas via New Devise 第13回 Unit 19 Will Compasses Point South? Unit 20 A New Alps Tunnel Augurs a Traffic Revolution for Europe 第14回 Unit 20, まとめ 第15回 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	<i>Science Spectrum</i> (金星堂) 1,900 円(税別) * 授業には必ず辞書を持参すること		
成績評価の方法・基準等	定期試験 50% 授業参加 (小テスト、発表、課題提出を含む) 50%		
受講要件(履修条件)	履修上の注意:原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は、個別指導を行う。		
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)	第1回目の授業のはじめに、教室で教科書販売を行います。必ず出席して下さい。		